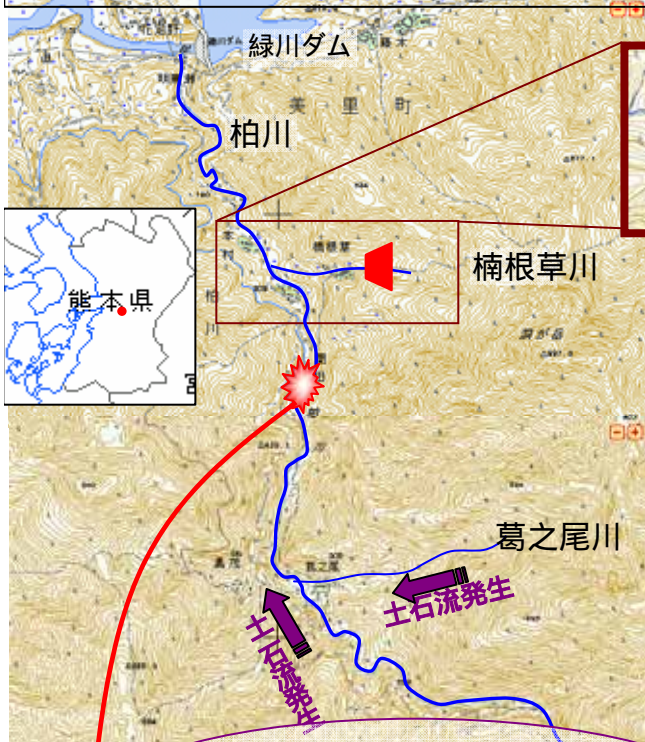


# 梅雨前線豪雨における砂防施設の効果事例

7月6日、熊本県美里町を流れる一級緑川水系柏川流域において、梅雨前線豪雨により土石流が発生しました。土石流により柏川集会所や社会教育センター等が全壊しましたが、支川の楠根草川では、砂防えん堤が土石流を捕捉したため、直下流の集落や道路等に被害はありませんでした。

みどりかわ かしわがわ くねさ  
**緑川水系柏川 楠根草川砂防えん堤**  
 しもましきぐん みさとまち くねさ  
**(熊本県下益城郡美里町楠根草地先)**



平成19年7月6日(梅雨前線豪雨)で発生した**土石流で被災**

平成19年7月6日(梅雨前線豪雨)で発生した**土石流を捕捉**



全壊した「柏川集会所」 全壊した「社会教育センター」



発災前(平成19年6月5日撮影)

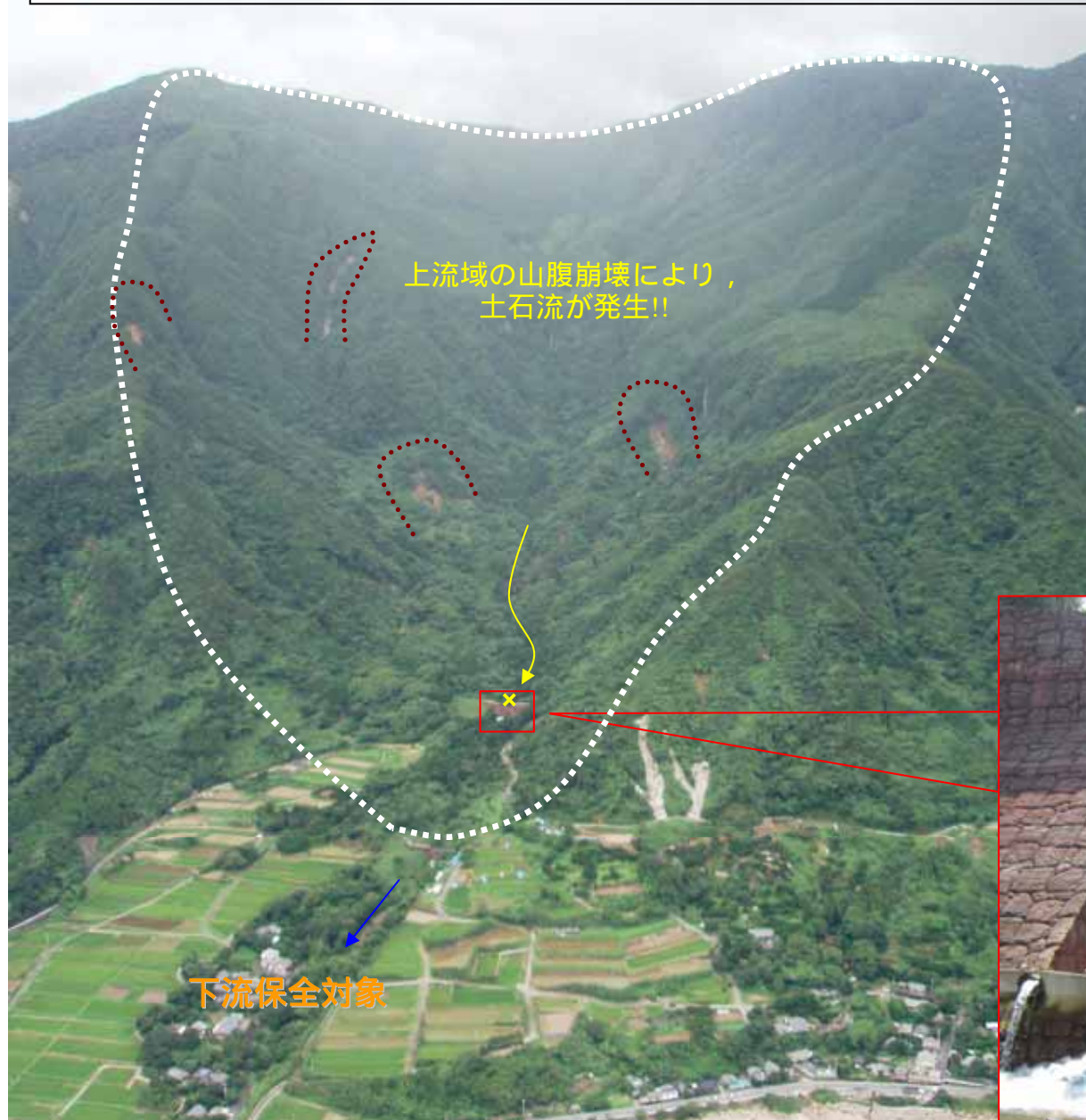
下流から撮影



効果発揮(平成19年7月11日撮影)

# 砂防施設が効果を発揮した事例 (鹿児島県肝属郡南大隅町二川川)

きもつき みなみおおすみ ふたがわがわ



H19.7.11の梅雨前線豪雨により、二川川において山腹崩壊及び土石流等が発生し、これらによる土砂や流木等が多く流下した。

既設砂防堰堤が施設されていたことにより、上流からの土砂及び流木を捕捉し、下流保全対象への土砂流出を低減することができた。

